

ソルガムのロールラップ作業体系による収穫調整技術

長大飼料作物のソルガムの収穫作業を通常の牧草のロールラップ体系と同様の体系で実施することが可能である。

収穫作業手順



刈 取



反転（2回）後 集草



ロール



ラッピング

刈取はモアコンディショナーの使用が望ましい。
その際の反転数は1～2回とする。

収量が高いので、モアコンディショナーの圧搾部分の調整が必要である。

ソルガムの特色

とうもろこしと同じC4植物であり光合成能力が高く、乾物収量大きい。

播種や収穫時期が、とうもろこしと異なるので、他の作物しだいで農作業が競合しない。

トウモロコシに比較すると、やや嗜好性、栄養価が劣るので、過肥を嫌う肉牛繁殖向けに適する。

品種による差が大きく、栽培の選択が広い。

野生生物による採食被害がない。

ラップは3回巻きとする。

